

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約2.0 億円
		通常砂防事業 しおから 塩辛川		内用地補償費	約0.1 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
朝来市 和田山町 竹田 ^{たけだ}			18年度	18年度	20年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、(一)溝黒竹田線、市道及び災害時要援護者施設である真生園などを保全する。			・砂防えん堤工 2基 (H = 6.5m, L = 38.0m) (H = 5.0m, L = 30.0m) [負担割合 国:1 / 2、県:1 / 2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	・塩辛川は土石流危険渓流である。 ・溪岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象: 人家 = 5戸、公共施設 = (一)溝黒竹田線、市道、公立和田山病院、県立和田山養護学校、災害時要援護者施設 = 真生園、恵生園、老人ホーム、田畑 = 0.50ha				
地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性を軽減し、地域の生活道路である(一)溝黒竹田線を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。				
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。				
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・豪雪地帯対策指定地域に該当し、砂防えん堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。				
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家5戸)、(一)溝黒竹田線、市道及び災害時要援護者施設である公立和田山病院、県立和田山養護学校、真生園、恵生園、老人ホームが保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。				
効率性	・地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には、人家5戸、(一)溝黒竹田線、市道及び災害時要援護者施設である公立和田山病院、県立和田山養護学校、真生園、恵生園、老人ホームがある。 ・平成16年10月の台風23号豪雨により下流へ土砂が流出し、それにより真生園(身体障害者養護施設)が被災しており、今後も土砂災害の危険性は高く、竹田地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。				